

参考資料A 家庭から出る廃プラスチックの再資源化のあるべき姿 本編 用語集

S: シート番号

平成22年9月

No	用語	S	意味	出典その他
1	廃プラスチック	1	廃棄プラスチック。使用后、廃棄された各種のプラスチック製品とその製造過程で発生したくずなど、及び／または廃タイヤを含むプラスチックとを主成分とする廃棄物。	Z0112 (2008)
2	再資源化	1	使用済物品等のうち有用なものの全部又は一部を再生資源又は再生部品として利用することができる状態にすることをいう。MR, CR, TRを含む。	(資源の有効な利用の促進に関する法律 第2条6項
3	容り法	2	容器包装リサイクル法	
4	LCA	2	ライフサイクルアセスメント: Life Cycle Assessment その製品に関する資源の採取から製造、使用、廃棄、輸送など全ての段階を通して環境影響を定量的、客観的に評価する手法	
5	材料リサイクル(MR)	4	廃プラスチックを再びプラスチック原料として利用する	
6	ケミカルリサイクル(CR)	4	廃プラスチックを化学反応の原料として利用する。 溶鉱炉用還元剤、コークス炉原料、ガス化原料、油化原料	
7	サーマルリサイクル(TR)	4	廃プラスチックを炭化水素燃料として利用してエネルギー回収する。単純焼却は含まない。	
11	RPF	4	廃棄物由来の紙、プラスチックなどを主原料として、圧縮成形、押出成形などによって固形化した燃料	JIS Z7311
8	新規樹脂代替率	5	未使用材料に対するリサイクル品の価値の指標	
9	低品質MR	5	新規樹脂代替率の低い材料リサイクル	
10	高品質MR	5	新規樹脂代替率の高い材料リサイクル	
12	物性	8	物質が有する性質 例 強度、加工性など	

No	用語	S	意味	出典その他
13	単一材質	8	一つの材質だけからなるプラスチック (プラスチックにはLDPE、HDPE、PP、PSなど多くの材質がある)	LDPE、HDPEとPPは異なる材質のプラスチックである。
14	品種(グレード)	8	実用的性質の相違による区分 例 同じHDPEでも用途により性質に差がある。	
15	パウチ	11	袋状容器	
16	複合素材	11	プラスチックと他の素材(充填材、紙、金属箔など)の組み合わせで構成される分離不可能なものである。	経済産業省 化学課監修、日本プラスチック工業連盟発行の「プラスチック製容器・包装材質表示方法マニュアル」
17	複合材質	11	複数の異なる材質のプラスチックからなる分離不可能なもの	経済産業省 化学課監修、日本プラスチック工業連盟発行の「プラスチック製容器・包装材質表示方法マニュアル」
18	エネルギー回収	13	燃料として利用し、その熱により発電したり、温水を得ること。	
19	低ハロゲン	14	ハロゲン(弗素、塩素、臭素等)の含有量が低いこと	

S : シート番号